

薬物依存予防家族が鍵

与那原中 ダルクの三浦さん講演

【与那原】薬物依存からの回復を目指す民間のリハビリ施設「沖縄ダルク」からエグゼクティブディレクターの三浦陽二さん(46)らを招いた講演会が27日、与那原中学校で開かれた。同中PTA(山内康司会長)が、薬物依存の実態や特性について学ぼうと企画。保護者ら約40人が参加し、じつくり耳を傾けた。

三浦さんは薬物に依存する原因として、寂しさや自己評



三浦陽二さん

価の低下、さらに知人からの誘いで断れないケースがあることを報告。それにより「個人的な成長や創造性が失われ、自己中心的となり、自由がなくなってしまう」と述べた。それから脱却する要素として、本人の気づきや自助グループなど仲間との出会い、

さらに回復を目指す人々を地域が理解し受け入れてくれることが重要と指摘。生き方を変えることで、失ったものを取り戻しつつ、自己評価を向上させることにつながると指摘した。

予防としては「自分が薬を使ったら悲しむだろう」という味方を多くつくること」とし、「何かに所屬し、その中で役割を持つことが重要。自己評価も上がる」と話した。家庭では一緒に食卓を囲むなど、家族の存在を常に感じるような工夫を呼びかけた。

また、三浦さんとダルク関係者の2人は、自身の体験として薬物依存に至る経緯や被害、回復に向けた取り組みを発表した。

沖縄 OOKINAWA TIMES
タイムス

2010年 6月29日 火曜日
(平成22年) 【旧5月18日・仏滅】

発行所 那覇市おもろまち1丁目3番31号
沖縄タイムス社
(郵便番号900-8678)
私書箱 那覇中央郵便局293号 沖縄タイムス社 2010年

